

取付け、ご使用に際しては必ずこの説明書に従い、正しく取付け、お使いください。

FP587 24.07

安全のために必ずお守りください

※ここでは守って頂かないと人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。

⚠ 警告

⊘	ストーブやヒーターなど熱を発生するものを近くに設置したり、火気類を近づけないでください。 またヘアドライヤーの熱風を直接あてないでください。 ※変色や変形、火災の原因となります。
---	---

⚠ 注意

❗	製品の壁固定位置には、必ず壁裏に補強を入れてください。 ※製品の取付強度が保てず、落下によりケガをするおそれがあります。
❗	取付け完了後に製品の固定にガタつきがないか、部品の組付けに異常がないかを確認してください。 ※使用中に落下してケガをするおそれがあります。
⊘	浴室など高温多湿な場所や、水に浸る可能性がある場所には設置しないでください。 ※破損やケガの原因になります。
⊘	製品に強い力や衝撃を与えないでください。 ※破損やケガの原因になります。
⊘	直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。 またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。 ※変色や変形、破損の原因になります。
⊘	酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類、 クレンザー等粒子の粗い洗剤は、使用しないでください。 ※変色や変形、キズ、破損の原因になります。
❗	製品に体重をかけたり、身体(頭や手など)をぶつけないように注意してください。 ※破損やケガの原因になります。
⊘	製品に水をかけないでください。また化粧品や洗剤類を付着したままにしないでください。 水に濡れたり、化粧品や洗剤が付着した場合はすぐに拭き取ってください。 ※変色や変形、破損の原因になります。
⊘	棚板、棚トレイに過剰にものを載せないでください。 ※棚板の許容積載量は、100cm ² (10cm×10cm)あたり0.5kgです。
⊘	ラックに過剰にものを載せないでください。 ※ラックの許容積載量は、カゴひとつあたり3kgです。

取付け前の確認

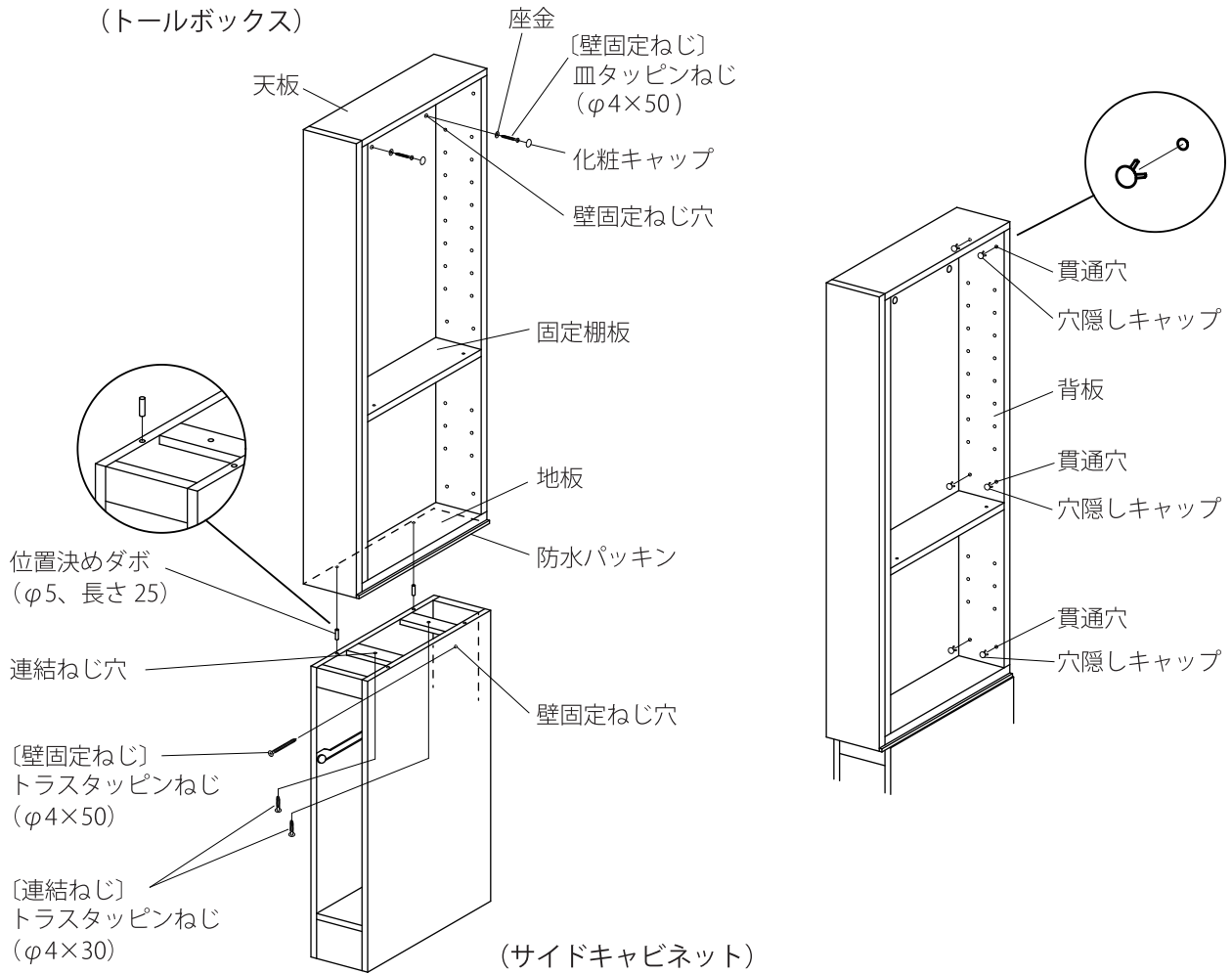
〔補強木、仕上材の厚みの確認〕

- 製品の取付けには、壁面に補強木(幅90mm×厚み30mm以上)が指定の位置(壁固定位置)に必要です。
あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。
直接、壁の仕上材に製品の取付けはしないでください。
- 補強木手前の仕上材は取付ねじを補強木に届かせるため、必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。
- 湿式壁の場合は、市販のアンカープラグ等を使用し、施工してください。

〔壁の不陸について〕

- 製品の取付壁面の不陸は5mm/2m以下であることを確認してください。
※不陸があるまま施工すると本体がひずむなど、支障がでる場合があります。

取付け方法



取付け手順

①下準備

- 防水パッキンをツールボックスの地板側面に、地板の下面に合わせて貼付けます。
※防水パッキンは、ツールキャビネットと洗面化粧台の天板との隙間をうめるパッキンです。
- サイドキャビネットからラックを取外します。

②サイドキャビネットとツールボックスを連結します。

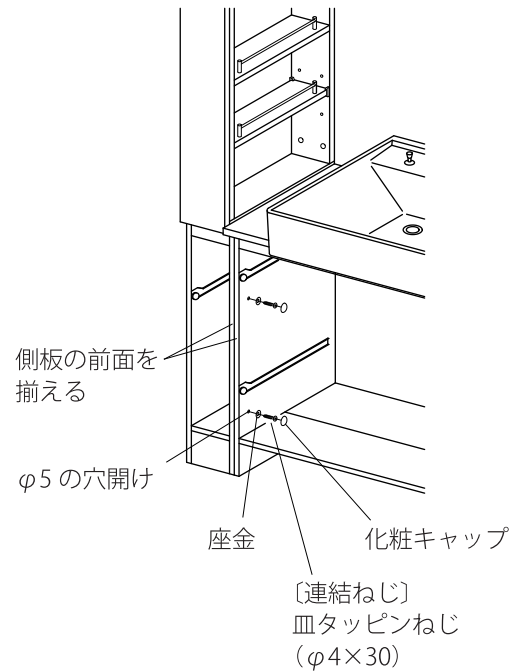
- 横壁に接する側のサイドキャビネット側板の上面にある2ヶ所の穴に、位置決めダボを差込みます。
- ツールボックスの底板の2ヶ所の穴に位置決めダボが入るように、ツールボックスをサイドキャビネットに載せます。
- サイドキャビネットの連結ねじ穴の下側からトラストタッピンねじ2本で、サイドキャビネットにツールボックスを連結します。

③穴隠しキャップをツールボックス背板の貫通した穴に取付けます。

- 穴隠しキャップのV字部分を軽く狭めて穴に収めてください。
※貫通穴は天板の直下、固定棚板の直上、地板の直上の6個の穴です。

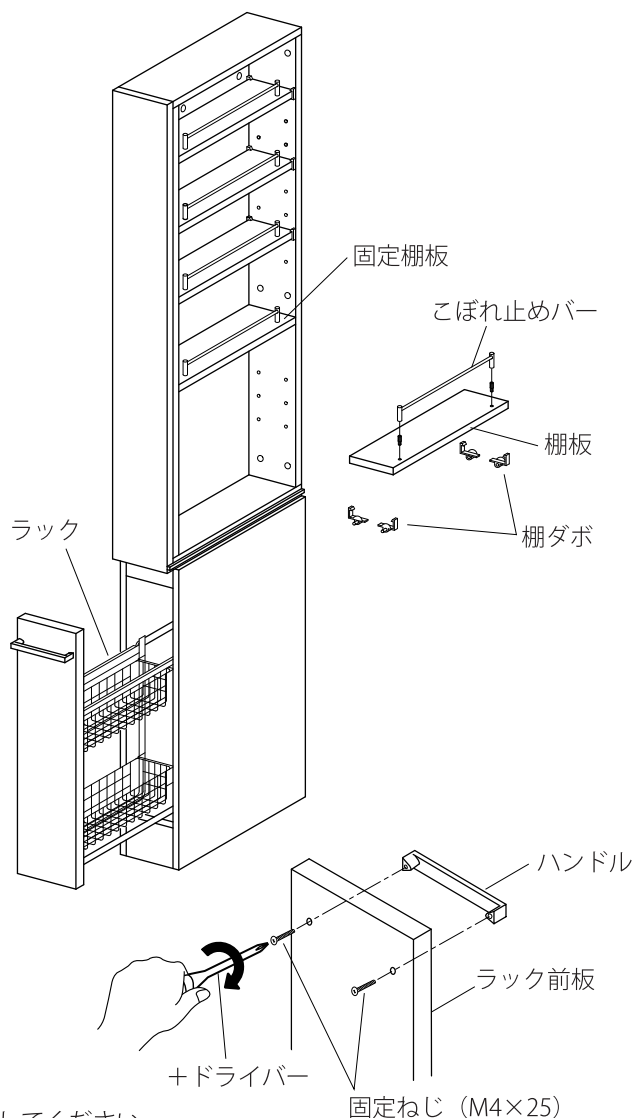
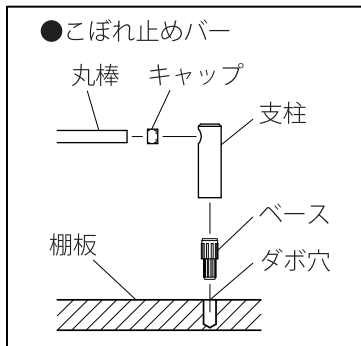
④洗面化粧台とツールキャビネットを連結し、壁に固定します。

- あらかじめ洗面化粧台の側板に連結ねじ用にφ5の穴を2ヶ所開けます。
※穴を開ける位置は、側板前面より3cm程度、上下の引出しレールの下側6cm程度の位置、または上下の丁番の間に2ヶ所です。
- 所定の位置にツールキャビネットと洗面化粧台を並べ、それぞれの側板の前面をそろえて連結ねじ2組で固定します。
- ツールキャビネット（サイドキャビネット部とツールボックス部）と洗面化粧台をそれぞれの壁固定ねじで壁に固定します。



取付け方法

- ⑤ トールボックスの固定棚板にこぼれ止めバーを取付けます。
- ・ 棚板のダボ穴にこぼれ止めバーのベースを差し込み、根元まで軽く叩き込みます。
 - ・ 丸棒の両端にキャップをかぶせ、支柱の横穴に差し込みます。
 - ・ 丸棒を差し込んだ支柱を棚板に取付けたベースにかぶせて板まで押し込みます。



- ⑥ 同様に棚板にこぼれ止めバーを取付け、トールボックスに棚ダボを使って取付けます。
※棚板は、固定棚板の上側3枚と下側1枚になります。

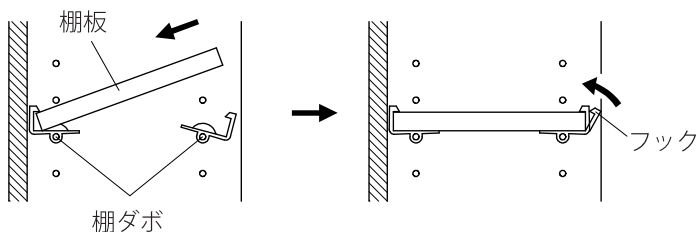
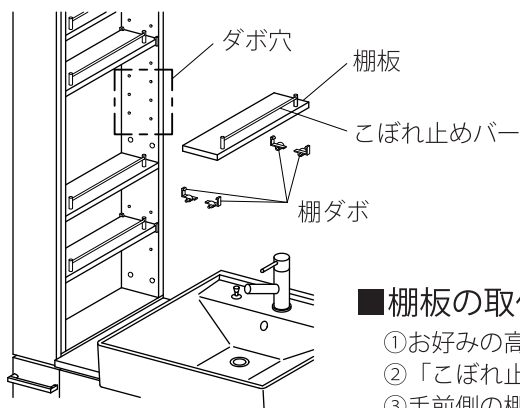
- ⑦ サイドキャビネットにラックを取付けます。

- ⑧ ラック前板の内側の貫通穴から固定ねじ (M4×25 :2本) を通し、ハンドルのねじ穴に締込み固定します。
※電動のドライバーで締付けしないでください。
ねじ穴が破損するおそれがあります。

■ 施工後の確認

- ・ 取付けねじが十分に締まっているか、ゆるみがないことを確認してください。
 - ・ 部品の組付けに異常がないことを確認してください。
- ※ねじのゆるみ、ガタツキがある場合は、必ずねじ位置を変えて取付け直してください。

棚板の位置変更 (棚板着脱)



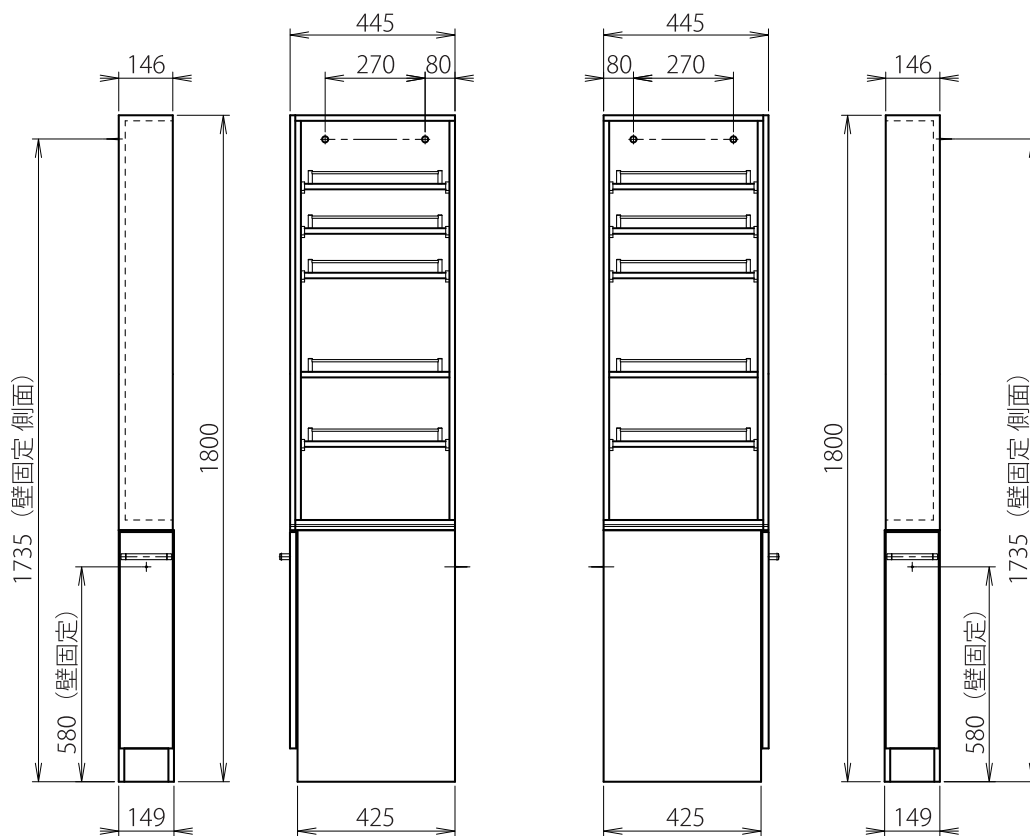
■ 棚板の取付手順

- ① お好みの高さのダボ穴に棚ダボを取付けます。
- ② 「こぼれ止めバー」を手前にし、棚板を奥側の棚ダボに差し込みます。
- ③ 手前側の棚ダボのフック部を手前に曲げながら棚板を下ろしてフックに引掛けます。
※棚板を取外す場合は、取付けと逆の手順で取外してください。

お手入れ方法

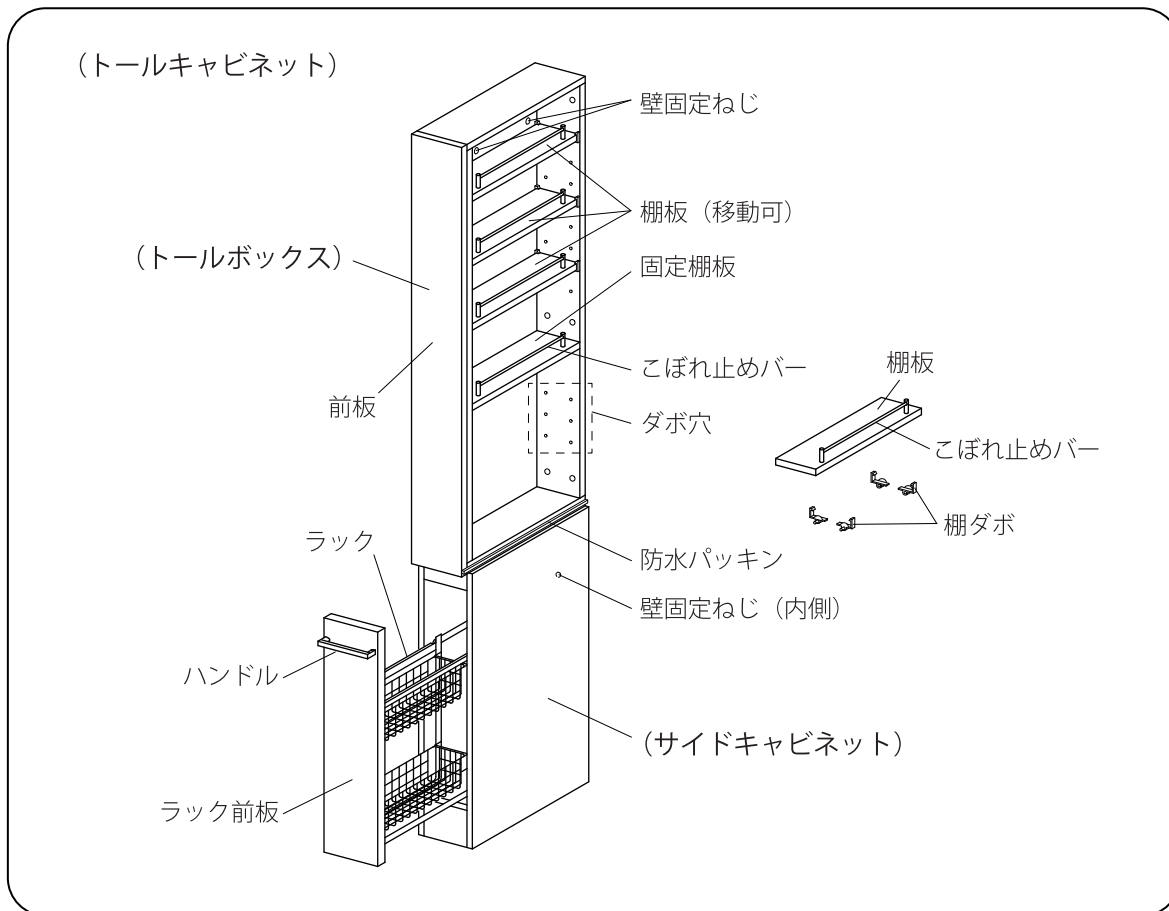
- 硬くしぼった濡れ布巾で汚れを拭いてください。
- 頑固な汚れには、中性洗剤を薄めた液 (100倍程度) を湿らせた布巾で拭いてください。
その後、硬くしぼった濡れ布巾で洗剤を拭取ってください。

寸法図・製品名称



LUTC151RAL

LUTC151RAR



ジャニス工業株式会社